

第4章 ロシアのサイバー作戦が欧米のポピュリズムを扇動する

ーロシアから「ボット」をこめて

松岡 諒

ロシアを例に、国家間で白熱するデジタル戦争、misinformation wars について。

IoT で高まるハッキングの脅威(138 頁～143 頁)

○IoT とは？

- ・「モノのインターネット」(ex. スマート機器)
- ・「脅威のインターネット」 by カスペルスキー

○なぜ「脅威」か

カスペルスキーによると…

- ・年々増加し高度化するサイバー犯罪者
- ・IoT の普及でセキュリティリスク拡大
→金銭的損失・命に関わる事故・社会不安の扇動

○カスペルスキーとは？

- ・ロシアのウイルス対策ソフトウェアを販売する企業を立ち上げた
- ・ロシアとの協力関係を疑われている

ハッカーは発電所を狙うのか(131 頁～147 頁)

○政府がハッキング活動→米露中など

○ロシアの例

「試験場」としてウクライナをサイバー攻撃

- ・きっかけ…二〇十三年末
ウクライナで親 EU・親 NATO 政権成立→ロシア対抗
- ・ロシアは放送局(RT)・ラジオ局(スプートニク)・ソーシャルメディアを利用し、「偽ニュース」を流す＝「情報戦争」

↓

本当の戦争に発展・クリミアがウクライナから独立

二十一世紀のポスト冷戦はサイバー戦争か(147 頁～149 頁)

○ロシアのサイバー攻撃が再び盛んに

「戦争」＝「非軍事活動」
「ディスインフォメーション＞軍事活動」
(ゲラシモフ参謀総長の年頭スピーチ)

- ・サイバー時代

- ディスインフォメーションの伝達速度・範囲が劇的に変化

- 偽ニュースで自国の外交を有利にする

- ポスト冷戦時代＝サイバー戦争時代

ロシアのトロール部隊(149 頁～153 頁)

- ディスインフォメーションで「民主主義は不安定で信用出来ない」と印象づける

- ・ルッドミラの暴露

- ・新聞記者の潜入ルポ

- トロール部隊…ロシア各地に数千人

- 活動資金の提供→新興財閥であるプリゴジン＝「プーチンの料理人」

- ・プリゴジンの経歴と関係

- ロシアのトロール部隊＝「史上最大のトロール産業」(NY タイムズ紙)

デジタルサイバー戦争の時代(154 頁～156 頁)

- ロシアのトロール部隊→集会も催している(ソーシャルメディアで告知、拡散)

- ・アメリカでの例…FB に多額の資金を投入

ロシアのサイバー攻撃を想定していた仏マクロンのチーム(156 頁～159 頁)

- 仏大統領選挙前

- ・露の活発化するディスインフォメーション

vs

- ・マクロンの選挙陣営のサイバー対策チーム

- 事前対策で「サイバーかく乱戦」→かく乱に成功した

ロシアのトロール部隊の狙いは情報かく乱(159 頁～161 頁)

- ロシアが目指すのは「ポスト西欧世界秩序の構築」(ロシア外相)

- ロシアのディスインフォメーション戦略は「ニューノーマル」に(米国家情報長官室の報告書)

- ・報告書→ロシアのディスインフォメーション戦略の手段・目的を掲載

不安をあおる新興右派政党の台頭(161 頁～164 頁)

- ドイツ…「ドイツのための選択肢 (AfD)」(親ロシア) が台頭

- ・難民政策で支持を獲得

(低所得・時代変化についていけない人からの支持)

- ・センセーショナルな言動→注目を集める

難民危機とネットポピュリズム(164 頁～166 頁)

○AfD の支援者→難民に強い危機感

- ・「難民」をめぐる事件…ロシアの「偽ニュース」によるもの

ロシア系ドイツ人が支持する新興右派政党(167 頁～168 頁)

○ロシア系ドイツ人

- ・ドイツ国籍取得も完全に同化できていない
 - ・ロシア系報道機関を情報源とする
 - ・AfD を支持・伝統的な保守主義者が多い
- 同性婚× 移民受け入れ反対

AfD が活発に利用するソーシャルメディア(168 頁～171 頁)

○AfD→議会選挙時にソーシャルメディアをフル活用

- ・Twitter での bot の利用
- ・FB で AfD 支持の書き込み

「世界保守主義」のリーダー(171 頁～174 頁)

○ロシアの「拡張主義」…大使同士の会話がリーク

- ・「多極主義の世界秩序」を目指す

- ・「保守主義の保護者」として保守と革新を分断→ロシアの地位を高める
- ポピュリスト・右翼政党・独立運動を応援

VS

アメリカ極主義

カタルーニャの住民投票でもロシアの影(174 頁～177 頁)

○カタルーニャ独立の住民投票…ロシアの影がちらついていた

- ・ロシアの報道機関→カタルーニャ独立を応援

○ロシアは既存の政党・運動や感情を利用し、分断を大きくさせ、民主主義の弱体化・ロシアの地位向上を狙っている。

「一体、分断を助長させる外国からのサイバー攻撃や偽ニュースにどう対応するべきか。」(177 頁)